公 式 記 録

(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

平成22年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　決 勝 【 39 】

主審署名：小川 耕司

日 時	2011 年 2 月 13 日（日） 13 ： 00 キックオフ			会 場	アスパ五色 メイングラウンド		
天 候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好
試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有						
マッチコミッショナー	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司	記 録	岡本 進司 ／ 菅原 正裕	観 衆	300 人
主 審	小川 耕司	副審1	山崎 隆史	副審2	田中 聡一	第4の審判員	大前 毅

チーム名			チーム名	
市立西宮高校	1	2	神戸弘陵学園高校	kick off
選手番号 ○× 先 PK戦	1 前半 0 / 0 後半 2 / 延前 / 延後 / PK戦		PK戦 選手番号 先 ○×	

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					中野 啄冶 2年	1	GK	GK	1	山田 亮 2年					分	
	分					山口 駿太郎 2年	5	DF	DF	2	山田 健太 1年					分	
	分					帷 智行 2年	14	DF	DF	3	嶋谷 昇大 2年					分	
	分					池上 泰平 2年	4	DF	DF	4	吉岡 尊志 2年					分	
	分					渋谷 大山 1年	11	DF	DF	13	今城 昌孝 1年					分	
	66 分					大道 壮毅 1年	3	MF	MF	6	森 佑太 2年					分	
	分					難波 祐輔 2年	6	MF	MF	15	江坂 巧 1年					分	
	分					前野 俊哉 2年	8	MF	MF	8	岩本 直樹 2年		1			分	
	分				1	後藤 寛太 2年	10	MF	MF	9	滝野 理貴 2年		1			分	
	分					指田 真宏 2年	7	FW	FW	10	車 剛史 2年	1				分	
	分			1		新井 友博 2年	9	FW	FW	17	藤原 拓也 2年					53 分	
	分					小島 諒 1年	12	GK	GK	12	鈴木 一馬 2年					分	
	分					石川 智景 2年	2	DF	DF	5	全 成希 2年					分	
	分					津川 拓輝 1年	13	DF	DF	14	村田 尚之 1年					分	
	分					秋山 諒太 1年	15	MF	MF	16	澤 侑太 2年					分	
	分					若田 茂之 2年	16	FW	FW	19	中村 祐輝 1年					分	
	分					岡田 大知 1年	17	MF	MF	7	浅沼 悠 2年					分	
	分					松尾 彬由 2年	18	DF	FW	11	藤井 心豊 2年					分	17
3	分					平岡 瑞穂 1年	19	MF	FW	18	國生 克彦 2年					分	
	分					溝口 大之進 1年	20	FW	MF	20	松崎 翼 1年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
17 分	警	9	新井 友博	ラフ	2			1	1	シュート	1	2			3	分				
分					4			2	2	GK	0	4			4	分				
分					4			4	0	CK	1	0			1	分				
分					5			2	3	直接FK	3	4			7	分				
分					4			3	1	間接FK	0	0			0	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
13 分	市西宮	10	後藤	1 － 0	右 6 ～ × 9 → 5 ∩ 10 H
37 分	神戸弘陵	8	岩本	1 － 1	中央 17 ∩ 8 ～ S
70 分	神戸弘陵	9	滝野	1 － 2	中央 15 ∩ 左 10 ～ ∩ 中央 9 ～ S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評者　所属 【 須磨友が丘・尼崎東 】　氏名 【 尾崎・近藤 】

戦評

両チーム4－4－2でゲームが始まり、開始直後からお互いにボールをつなぎ一進一退の攻防の中、徐々に市西がペースを掴み、13分右サイドを上手く崩し、右DFの⑤山口からのクロスボールを左MF⑩後藤が上手く中に入り込み頭で合わせ先制、そのまま市西ペースでゲームが進み前半は終了した。後半開始直後から弘陵が積極的に仕掛け、37分DFの背後に飛び出した⑧岩本がドリブルシュートを決め同点に追いついた。その後は弘陵ペースでゲームが進むが、市西⑥難波⑭帷を中心とするディフェンスを崩せずに得点を奪えなかった。市西も⑩後藤を起点とし、チャンスをつくるが、決めきれず、お互いに延長を意識し始めた終了間際左サイドでボールをキープした弘陵⑩車から逆サイドへ走り込んだ⑨滝野にボールが渡り落ち着いてDFをかわし決勝点を決め、平成12年度以来となる優勝を決めた。

［備 考］